

1 公園整備プラン

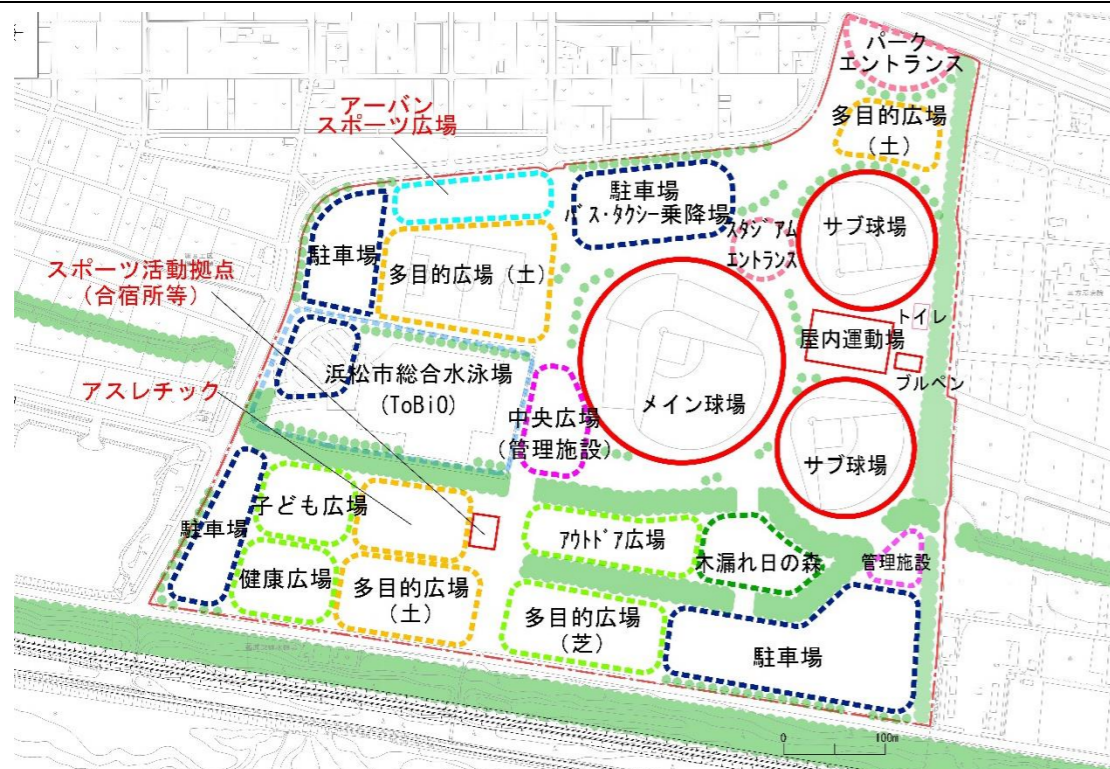
令和5年2月議会において、コンセプトの異なる3つの公園整備プランを評価し、「みんなが楽しめる健康・スポーツ公園」に決定した



令和5年2月県議会提示案

【令和5年度の官民連携導入可能性調査の結果を踏まえた追加導入施設】

- ・スケートボード・BMX等のアーバンスポーツやアスレチック
- ・スポーツ施設に隣接した合宿所 等



公園基本計画素案

2 野球場タイプ

(1) 一次選定

令和5年2月議会において、規模、構造の異なる16の野球場タイプから、アカウミガメへの影響を考慮して、屋外の照明ありの6タイプを除外し10タイプへ絞り込んだ

タイプA (照明なし)	タイプB (照明なし)	タイプX (ドーム)
草薙球場相当 (2.2万人)		
ZOZOマリスタジアム(千葉市提供)	いわて盛岡ボールパーク(盛岡市提供)	札幌ドーム(札幌市提供)

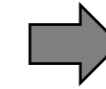
タイプC (照明なし)	タイプD (照明なし)	タイプY (ドーム)
愛鷹球場相当 (1.3万人)		
岐阜県メモリアルセンター ((c) 岐阜県)	静岡県営愛鷹球場(愛鷹広域公園提供)	長浜バイオ大学ドーム(滋賀県提供)

タイプE (照明なし)	タイプF (ドーム)	タイプG (照明なし)	タイプH (ドーム)
小規模球場 (1.0万人)		小規模球場 (0.6万人)	
清水庵原球場(静岡市提供)	長浜バイオ大学ドーム(滋賀県提供)	浜岡球場(御前崎市提供)	ニプロハチ公ドーム(大館市提供)

(2) 二次選定

【令和5年度の官民連携導入可能性調査の結果】

- ・ 浜松市営球場における高校野球大会の最大入場者数の実績から内野席は6,000席以上が必要である
- ・ 県内で同規模の内野席を有する野球場の収容人数は、内外野を合わせて1.3万人以上である



現在の利用状況に対応できない野球場の規模
1.0万人、0.6万人の4タイプを除外し、以下の
6タイプへ絞り込む

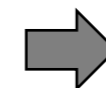


(3) 三次選定

整備タイプ	タイプA	タイプB	タイプX	タイプC	タイプD	タイプY
	草薙球場相当 (2.2万人)			愛鷹球場相当 (1.3万人)		
野球場イメージ	 ZOZO マリンスタジアム(千葉市提供)	 いわて盛岡ボールパーク(盛岡市提供)	 札幌ドーム(札幌市提供)	 岐阜県メモリアルセンター ((c) 岐阜県)	 静岡県営愛鷹球場(愛鷹広域公園提供)	 長浜バイオ大学ドーム(滋賀県提供)
野球場の構造	外野スタンド：コンクリート構造	外野スタンド：盛土構造	ドーム構造	外野スタンド：コンクリート構造	外野スタンド：盛土構造	ドーム構造
概算事業費(R4算出)	200億円	100億円	370億円	140億円	70億円	290億円
年間維持管理費(R4算出) (大規模改修費除く)	0.8億円	0.7億円	1.3億円	0.6億円	0.5億円	1.0億円
評価	① プロ野球開催	可能(条件付)	可能(条件付)	可能	不可	不可
	② 多目的利用	可能(雨天×)	可能(雨天×)	可能	可能(雨天×)	可能(雨天×)
	③ 風の影響	小	大(野球シーズンは小)	無	小	大(野球シーズンは小)
	④ 建設・維持管理費	大	小	極めて大	大	小
	⑤ 利用料金	既存球場と同程度	既存球場と同程度	既存球場より高い	既存球場と同程度	既存球場と同程度
	⑥ 規模・構造変更	困難	可能	—	困難	可能
	⑦ その他	—	浜松市営球場と同程度	期成同盟会要望の構造	—	野球協議会要望と同程度

【令和5年度の官民連携導入可能性調査の結果】

- ・ 社会情勢やニーズの変化に応じて規模・構造を変化させる可能性も考えられる



規模・構造の変更が困難な外野スタンドが
コンクリート構造、ドーム構造(1.3万人)の
3タイプを除外する

(4) 公園基本計画素案に盛り込む野球場の規模・構造

【令和5年度の官民連携導入可能性調査の結果】

- ・ 浜松市営球場における高校野球大会の最大入場者数の実績から、内野席は6,000席以上が必要である
- ・ 県内で同規模の内野席を有する野球場の収容人数は、内外野を合わせて1.3万人以上である
- ・ 需要調査結果からプロ野球公式戦は本拠地での開催が多く、地方での開催は少ない
- ・ 交通アクセス等に課題があり、現状では大規模イベントの開催が見込めない
- ・ P F I 事業が成立する可能性が高い



【絞り込みの考え方】

- ・ 現在の需要見込みに合致し、P F I 事業の成立が見込める1.3万人以上の規模
- ・ 規模・構造の変更が困難なタイプを除外

■ 1.3万人の屋外型（愛鷹球場相当：タイプD）

- ・ 建設費・維持管理費が最も安価であり、最低限必要な規模

<留意点>

- ・ プロ野球を開催するには規模が小さく、イベントを開催するには天候の影響を受ける

■ 2.2万人の屋外型（草薙球場相当：タイプB）

- ・ 県西部地域の拠点球場としての役割や、都市規模に応じた草薙球場と同規模

<留意点>

- ・ プロ野球は開催可能であるが、イベントを開催するには天候の影響を受ける

■ 2.2万人の多目的ドーム型（地元が要望する規模・構造：タイプX）

- ・ 野球以外の幅広いイベントも開催可能な構造

<留意点>

- ・ 地元（浜松市・経済界）による公園周辺のまちづくりやプロ野球以外の大規模イベント誘致によるにぎわい創出の具体化及び交通アクセスの改善
- ・ 地元（浜松市・経済界）や民間企業からの建設費・維持管理費の負担や再生可能エネルギー活用等による利用料金の低減

	(R4算出)
概算事業費	70億円
年間維持管理費 (大規模改修費除く)	0.5億円

静岡県営愛鷹球場
(愛鷹広域公園提供)



	(R4算出)
概算事業費	100億円
年間維持管理費 (大規模改修費除く)	0.7億円

いわて盛岡ボールパーク
(盛岡市提供)



	(R4算出)
概算事業費	370億円
年間維持管理費 (大規模改修費除く)	1.3億円

札幌ドーム
(札幌市提供)



【公園基本計画素案における野球場の規模・構造】

野球場の規模・構造は「1.3万人の屋外型」、「2.2万人の屋外型」、「2.2万人の多目的ドーム型」の3案を基本計画素案に盛り込む